

『ピースメッセージ展開催資料』



【世界平和に願いを込めて】

『ピースメッセージ展』
～平和の風～

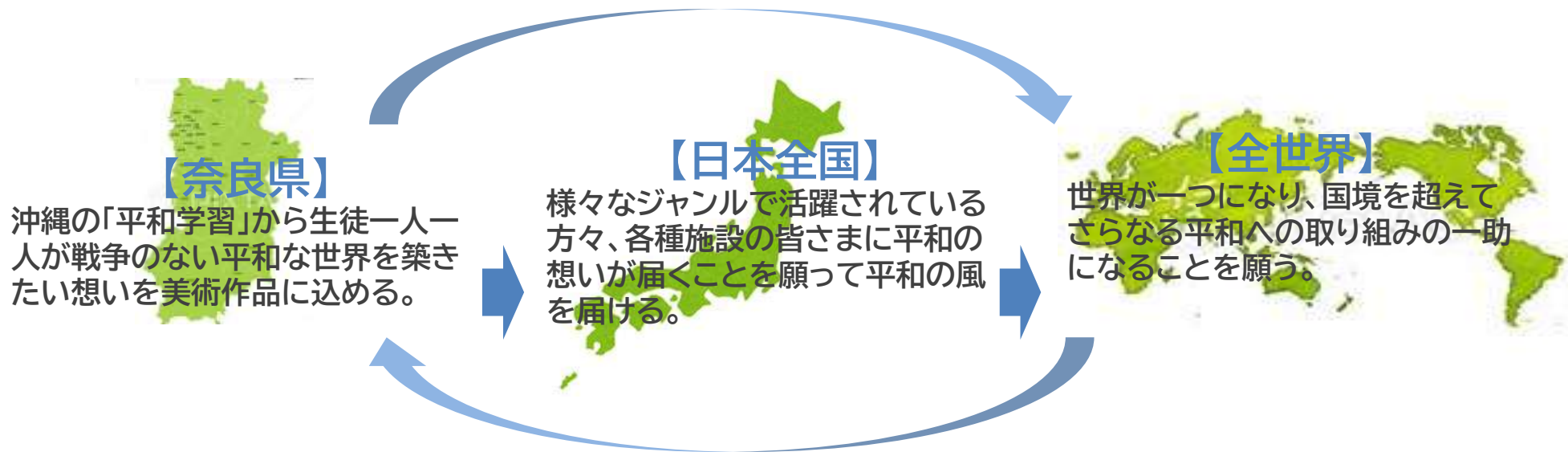
第7回の開催に向けて

2021年

I.「ピースメッセージ展」のあゆみ		
1.「ピースメッセージ展」のコンセプト	4 頁
2.「ピースメッセージ展」の開催経緯	5 頁
3.「ピースメッセージ展」の原点	6 頁
4.「ピースメッセージ展」の契機	8 頁
5.「ピースメッセージ展」のこれまで	9 頁
II.「ピースメッセージ展」の各回展示概要		
「第1回」 2015年(平成27年)	11 頁
「第2回」 2016年(平成28年)	14 頁
「第3回」 2017年(平成29年)	17 頁
「第4回」 2018年(平成30年)	20 頁
「第5回」 2019年(令和元年)	23 頁
「第6回」 2020年(令和2年)	26 頁
III.参考資料		
1.「国際平和年」について	32 頁
2.「SDGs」について	33 頁

I.「ピースメッセージ展」の あゆみ

地域から平和のメッセージを発信し続け、 日本から世界に平和の風を届ける。



一人一人が身近なところから
平和と友情のネットワークを作り上げる。

「ピースメッセージ展」
の原点
1985～86年

「ピースマーク」の作成と「平和の旗」への参加

大三輪中学校の1年生が世界平和の「ピースマーク」が国内外で大きな反響を呼び、ブルガリアで開催された「国際平和年」の国際児童集会「平和の旗」に招待された。世界に向けて平和への願いをアピールし、テレビ、新聞などに多く取り上げられた。



「ピースメッセージ展」
の契機
2012年～14年

想いの糸で
つながる27年

沖縄への修学旅行で戦争の悲惨さを知り、ひめゆり平和祈念資料館 宮城先生の講演で平和の尊さを全員でかみしめる

2012年に春日中学校に来ていただき、戦時中のお話やひめゆり学徒隊の生き残りとして戦争体験を熱く語ってもらい、様々な想いを聞くことができた。いかに戦争のない平和な日常の大切さを改めて生徒、教師全員が感じた。



「ピースメッセージ展」
第1回開催
2015年

そして
未来に向けて

平和という言葉のいらぬ素晴らしい世界を目指して

地域から生徒たちと平和のメッセージを発信し、身近なところから平和と友情のネットワークを築き、『花よりも花を咲かせる土になること』を願って「平和の風」をテーマに2015年8月に第1回を開催した。

はじまりは36年前

■1985年に桜井市大三輪中学校の1年生が「反戦・反核」をテーマに「ピースマークのデザイン」を制作、個性豊かな作品が生まれた。

- 使う必要のない大砲に鳥が巣を作ったり、人々が笑顔で地球を取り囲んだり、黒く塗った地球に「平」の形で木が立つデザインなど「新鮮な感覚の個性豊かな作品」が集まった。
- その後、夏休みの特別教育活動の「平和学習」のとき、広島と長崎の原爆の惨状についてビデオを全校で見た後のクラス会で「あのマーク活用する方法」をみんなで考えた。

国内外に成果を
発信

■2学期に入りアメリカ、ソ連、フランスなどの元首をはじめ、国内の大学や美術館、団体等に作品を送り、デザインの意見やメッセージなどをもらった。

- 宛名は生徒一人一人が書いた。「戦争は人類を破滅させます。世界平和実現のための平和マークを送ります」というメッセージを添えた。国外には英文の手紙を送り、国内を含めて約数十か所に送った。

大きな反響を
呼ぶ

■海外からの15通を含む30通以上の返書が届き、大きな反響があった。

- 沖縄県立博物館、石橋美術館、大原美術館、足立美術館、古代オリエント美術館など国内から指摘やアドバイスなどが届いた。また、フランス大統領府や大英博物館など海外から激励の言葉が贈られた。生徒たちは寄せられた意見を参考にマークを着色するなど、新たな展開に取り組んだ。この取り組みはテレビ、新聞などに取り上げられ大きな反響を呼んだ。



1986年ブルガリアから「平和の旗」の集会への参加要請が来る

■ブルガリア人民共和国から国際児童集会「平和の旗」への参加を要請された。

- 当時の世界は冷戦状態で軍拡競争により世界も平和が脅かされる状態であった。国連では1985年10月にその状況を打破するため「1986年を国際平和年とする」と、正式に宣言されていた。
- そんな折、1986年3月にブルガリア人民共和国の駐日大使、公使が直接、奈良の中学校に来られて、大統領のメッセージを、ピースマークを作成した生徒代表に手渡された。

そして
世界大会に参加

「平和の旗」集会への招待状が届き3人がブルガリアへ

■11月に開催された「平和の旗」集会に先生と生徒2名が参加。

- 1986年11月にブルガリアの首都ソフィアで開催された子供の交際平和運動「平和の旗」集会に参加。この集会は世界平和をテーマに創造力豊かな作品やコーラス、ダンスを発表・交歓するもの。15日からの3日間、開会式、平和と友情の木の記念植樹、コンサート、作品の発表会、小学校参観、市内観光などを行い、平和とは何かを世界的な視野で考えるきっかけになった。



春日中学校で「平和学習」を兼ねて修学旅行で沖縄に行く

■沖縄に行き自分の「五感」で情報を感じ取り現状と歴史を学ぶ。

- 沖縄では発展した今の街の姿とともに太平洋戦争で負った傷跡、復興までの道のりを知ることが「平和」とは何かを知るためには欠かせない。戦後76年になる今年も6月23日は「慰霊の日」として「沖縄全戦没者追悼式」が行われた。

平和とは何か、どう
伝えるかを摸索

「ひめゆり平和祈念資料館宮城先生の講演会実現

■修学旅行で知り合った宮城喜久子先生にお願いして講演会を開いた。

- 修学旅行で知り合った沖縄の宮城先生は、ひめゆり学徒隊の生存者として戦争体験を語り継ぎ、ひめゆり平和祈念資料館建設に尽力された方。2012年6月に春日中学校の生徒達に戦争体験などのお話をしていただいた。貴重なメッセージから平和の大切さを改めて思い知ることができた。宮城先生は惜しくも2014年12月に86歳で他界されたが、今の生徒たちも先生の平和へのメッセージと深い想いを学んでいる。

ピースメッセージ展
の立案から開催へ

ピースメッセージ展～平和への風～の企画と第1回の開催

■平和へのメッセージを何らかの形で発信することの大切さに気付く。

- 戦後70年になり、宮城先生のお話背中を押され、地域から生徒たちと一緒に平和へのメッセージを発信していきたいという思いが熱くなって、ピースメッセージ展を企画した。第1回は2015年8月に奈良町資料館で開催。すべての展示作品から平和への熱い思いを感じ取ってもらうことを優先して内容を検討。宮城先生から贈呈された「命ど宝」と揮毫された絵本「ひめゆり」は学校の宝物になっている。展示会は多くのマスコミに取上げられ反響を呼び、各方面から多くのメッセージをいただいた。

ひめゆり平和祈念資料館



宮城喜久子先生



展示物のTシャツと宮城先生からの絵本「ひめゆり」



5.「ピースメッセージ展」のこれまで

第1回
2015年



春日中学校の美術部の生徒による平和をテーマにしたTシャツをはじめ多くの作品を展示。2014年にお亡くなりになったひめゆり平和祈念資料館の宮城先生から贈呈された絵本「ひめゆり」も展示。多くのマスコミに取り上げられた。

第2回
2016年



ひめゆり平和祈念資料館館長の島袋先生のメッセージをはじめ多くの方から寄せられた手紙や絵画などの作品を展示。第2回以降もテレビ、新聞に取り上げられるようになった。

第3回
2017年



生徒をはじめ様々なジャンルでご活躍の方々作品やメッセージを展示。この頃から毎年同じ方からのメッセージや絵画が贈られてくるようになった。また、新しい方のお便りやメッセージも増えてきた。

第7回
2021年開催へ

世界平和に向け
さらなる取り組み

第6回
2020年



新型コロナの感染拡大でオンラインで開催。三笠中学校美術部の生徒をはじめ、各方面の方々からの平和へのメッセージや絵画などを展示。過去の展示作品の動画も作成。

各回とも「メッセージ帳」を置いて自由に記帳していただいた



第5回
2019年



沖縄ひめゆり平和祈念資料館の普天間館長からのメッセージをはじめ、著名なの方々から寄せられた作品、メッセージを展示。

展示会場「奈良町資料館」



第4回
2018年



展示会の知名度も上がり、多方面でご活躍の方々から作品やメッセージが寄せられた。また、平和を願った生徒の作品(外国の作品含)も展示。

Ⅱ.「ピースメッセージ展」の 各回展示概要

春日中学校美術作品展 ピースメッセージ展 (平和の風) 2015

戦後70年を迎え、春日中学校の生徒やドイツ交流の芸術家等による平和をテーマにした作品展を奈良町資料館で開催しました。平和の風は、「平和」を点から線そして輪に広げ、多くの方に感じて欲しいという思いからサブタイトルとして入れました。

■開催のポイント

- 春日中学校では「平和学習」を兼ねて、毎年沖縄へ修学旅行に行っています。今年は5月に沖縄修学旅行に行き、「平和の礎」で生徒たち全員が千羽鶴奉納し、平和への祈りと平和宣言をしました。
- ひめゆり学徒隊の生き残りとして戦争体験を語っていただいた宮城喜久子先生は残念ながら2014年12月に86歳でお亡くなりになりました。2012年6月に本校の生徒達に語っていただいた戦争体験が最後のメッセージとなり、宮城先生から贈呈していただいた「命ど宝」と揮毫された絵本「ひめゆり」は本校の宝物で、今回展示させていただきました。
- 宮城先生からのメッセージで背中を押されたこともあり、戦後70年、地域から生徒たちと一緒に平和へのメッセージを発信していきたいという思いが熟くなり今回の展示を企画することになりました
- Tシャツをはじめすべての展示作品から平和への熱い思いを感じ取っていただければありがたいと思います。
- 来場された方々が、設置してある「メッセージ帳」にそれぞれの思いや本校生徒へのメッセージを書き込んでくれています。また、奈良新聞と奈良NHKが展示の取材に来てくれ、NHKでは1分間ほど紹介してくれました。

「ひめゆりの塔」での平和への祈り



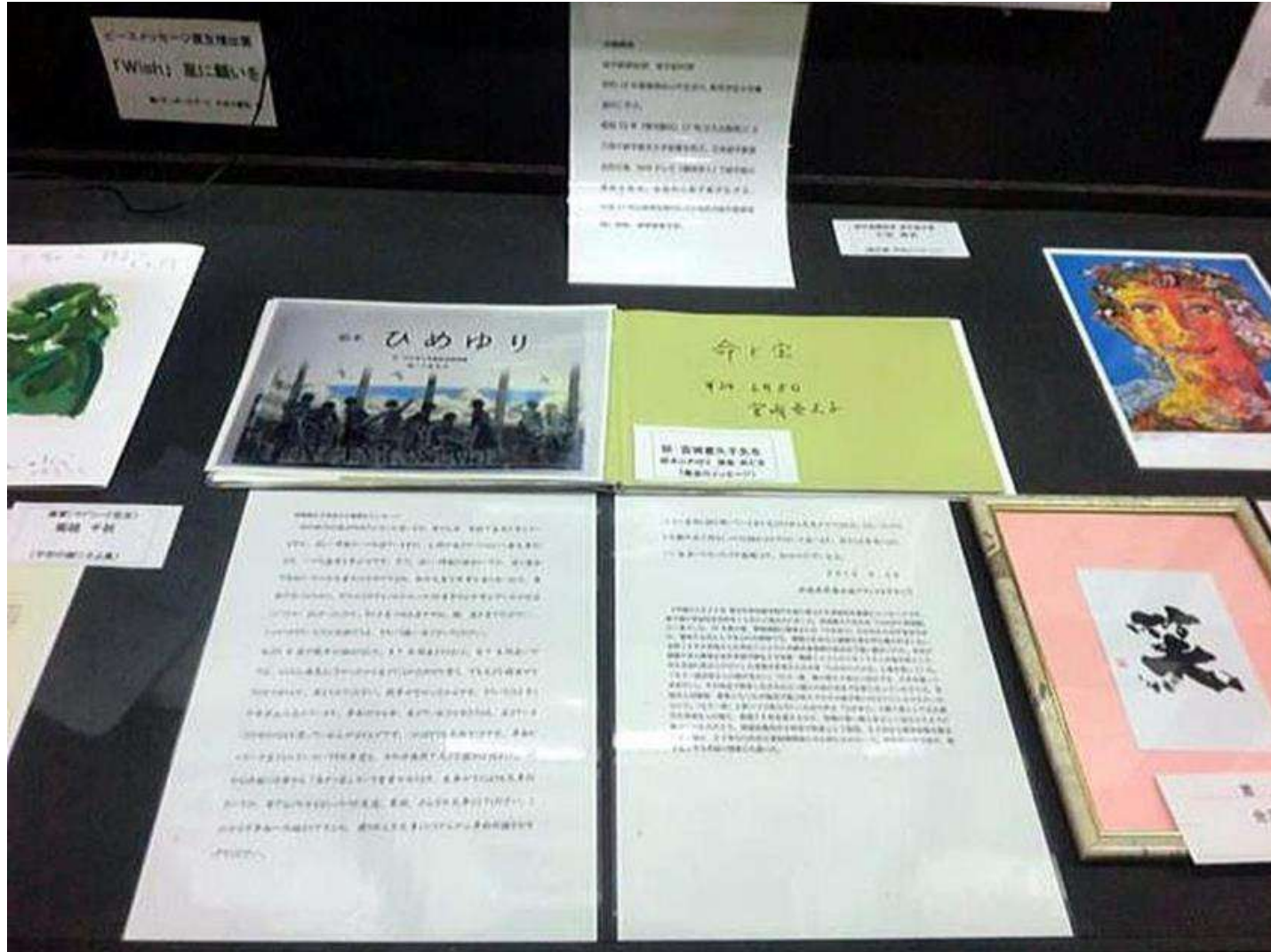
「生徒たちの作品の一部」



■ 展示作品の一部



■宮城先生から贈呈された「命と宝」の揮毫と絵本「ひめゆり」



春日中学校美術作品展 ピースメッセージ展 (平和の風) 2016

今回も「平和」を点から線そして輪に広げ、多くの方に感じて欲しいという想いから企画しました。
ぜひ「平和の風」を感じ取って欲しいと思っています。

■開催のポイント

- 5月に沖縄修学旅行に行き、「平和の礎」で生徒たち全員が千羽鶴奉納し、平和への祈りと平和宣言をしました。
- また、宮城先生が最後に訴えられたメッセージを生徒たちは学んでいます。生徒たちと一緒に平和へのメッセージを発信して行きたいという想いが熱くなり今年も開催しました。
- ひめゆり平和祈念資料館の島袋淑子館長から平和メッセージが届きました。また、ドイツの芸術家の方との交流作品などすべての展示作品から平和への熱い想い「平和の風」を感じ取っていただければ幸いです。

〈主な展示内容〉

- ・ドイツ(カッセル市)芸術家の交流作品
- ・オリジナルTシャツ(生徒作品)
- ・絵手紙(生徒作品)
- ・美術部作品
- ・インド交流生徒作品(スネハパブリックスクールより)
- ・著名人からの作品、メッセージ
- ・その他

「インド交流生徒作品」



〈ドイツ芸術家 Dr. Stefan Mitzlaff氏のプロフィール〉

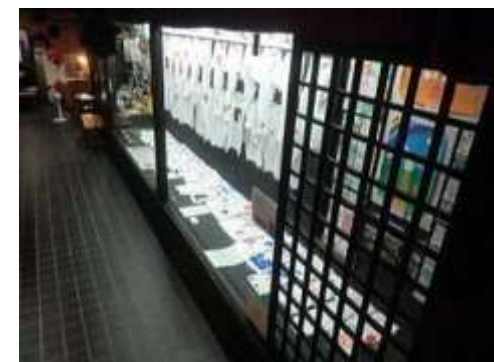
ドイツカッセル市在住の芸術家ミッツラフ氏

2008年~2009年にかけてツイーゲンハイン市の学校カール・パンツェル・シューレで開かれました。生徒達は学年に関係なくこのテーマを取り上げ、自分たちの作品を「平和とは、戦争のない対立豊かな時代」というテーマで作品展示をしました。プロジェクトは、これまで日本との友好関係を築き上げてこられたステファン・ミッツラフ氏の呼びかけによります。こうした経過を経て、ドイツの学校と日本の大学との共同作業が実現しました。

「世界各国との交流作品他」



■展示作品の一部



■新聞の紹介記事

13版
2016年(平成28年)8月15日
月曜日
夏月

沖繩訪問の春日中生デザイン

30日まで、奈良町資料館で展示

沖繩へ修学旅行をした奈良市立春日中学校の3年生210人が、平和への願いを込めたTシャツを1枚ずつデザインした。30日まで、奈良市西新屋町の奈良町資料館で紹介している。



平和の願い Tシャツに

沖繩のシーサーやハイビスカス、ジンベエザメ、鳥や地球、手、思い思いの絵と「PEACE」「和」などの文字を組み合わせ、版の技法で表現した。生徒らは5月、2泊3日

で沖繩を訪問。沖繩戦の戦没者の名が刻まれた「平和の礎」に千羽鶴を手向け、「毎日おいしいご飯を食べ、友達と楽しい時間を過ごせる当たり前が続くように」という平和の宣言をした。旅行後、美術の授業でTシャツをつくった。

ころした取り組みや平和への思いを伝えようと、美術の杉本哲也教諭(58)が中心になって「ピースメッセージ展」を準備。ひめゆり平和折念資料館の島袋恵子館長、園家樹谷幸二さん、シンガー・ソングライターBOROさん、宮沢和史さんら、企画に共感した人たちからもメッセージが届いた。生徒たちの絵手紙作品も展示している。

奈良町資料館(0742・22・5509)は午前10時~午後4時、最終日は3時まで。無料。(栗田優美)

春日中学校美術作品展 ピースメッセージ展 (平和の風) 2017の開催

地域から生徒たちと平和へのメッセージを発信したくて、今年も展示を企画しました。一人一人が身近なところから平和と友情のネットワークを築いていただくことを念願しています。

■開催のポイント

- 美術を通して平和のメッセージを伝えたいと企画したもので今年で3回目になります。沖縄の修学旅行で全員が平和への祈りと平和宣言をし、その「平和学習」で感じたことを170人がTシャツなどにカラフルにデザインしました。
- 沖縄で生徒たちが肌で命の貴さや平和の貴さを感じたことを図柄や言葉で表現してくれているので一つひとつから感じ取って欲しいと思います。そして一人一人が身近なところから平和と友情のネットワークを築いていってくださることを念願しています。
- 今回も引き続き宮城先生から贈呈していただいた「命ど宝」と揮毫された絵本「ひめゆり」は本校の宝物ですので展示させていただきました。
- 展示会の様子はテレビや新聞に大きく取り上げられました。

〈主な展示内容〉

- ・ オリジナルTシャツ(生徒作品)
- ・ 絵手紙(生徒作品)
- ・ 美術部作品
- ・ 著名人からの作品、メッセージ
- ・ その他

奈良テレビチャンネルで放映された第3回展示会の動画



■ 展示作品の一部



春日中学校美術作品展 ピースメッセージ展 (平和の風) 2018の開催

今年も身近なところから平和と友情のネットワークを築いていってくださることを思い開催しました。
ひめゆり平和祈念資料館の普天間新館長から力強いメッセージを贈っていただきました。

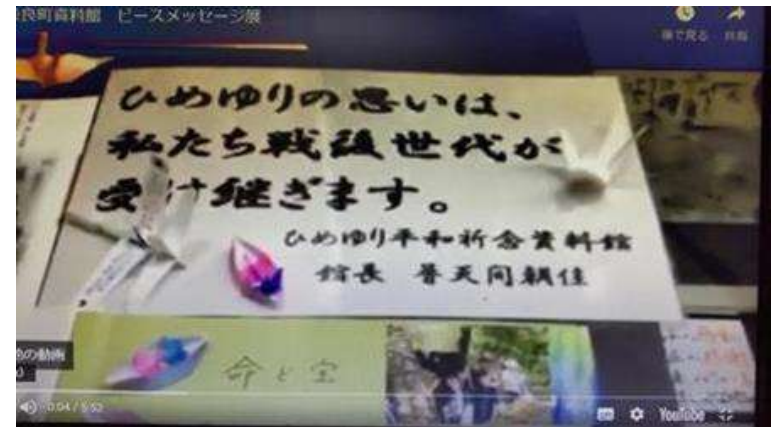
■開催のポイント

- 今年も修学旅行の沖縄に行き、生徒たち全員が平和への祈りと平和宣言をしました。
- 4年前に故宮城先生が生徒達に最後に訴えられたメッセージを展示。宮城先生から贈呈された本校の宝の「命と宝」と揮毫された絵本「ひめゆり」も展示させていただきました。
- ひめゆり平和祈念資料館の島袋元館長、普天間新館長のメッセージが届きましたので一人一人が身近なところから平和と友情のネットワークを築いて行くことを念願して展示させていただきました。
- また、戦後70年から届きました著名な方々からの作品、メッセージを展示し、展示期間中は一部作品やメッセージを入れ替えました。

〈主な展示内容〉

- ・ 授業で作成したオリジナルTシャツ・絵手紙、美術部生徒作品
- ・ 沖縄平和祈念資料館より(沖縄県の中学生生徒優秀作品)
- ・ 外国交流作品(インドのスネハパブリックスクール、ベトナムレロイ中学校、他)交換作品
- ・ MOA美術館より(外国生徒作品)
- ・ 著名な方々からの作品・メッセージ等

ひめゆり平和祈念資料館の普天間館長から贈られたメッセージ



■ 展示作品の一部



■ 展示作品の一部



春日中学校美術作品展 ピースメッセージ展（平和の風）2019の開催

地域から生徒たちと平和へのメッセージを発信し続けることで、さらなる平和と友情のネットワークを築くことを願い開催しました。

■開催のポイント

- 今年で5年目を迎え、国内、近隣はもとより海外からの観光客もたくさん見学に訪れてもらい、平和を希求する方々に熱いメッセージを発信でき、例年と同様に新聞などに掲載され広く認知されるようになりました。
- 3年生が沖縄への修学旅行の際に行った「平和学習」をもとに、メッセージやイラストをシルクスクリーンで作成したTシャツ、約160点が出展されました。
- また、平和や人権を考える芸術家やシンガーソングライター、スポーツ関係の著名人からピースメッセージ展にあてたメッセージもたくさん展示された。さらに、沖縄の中学生・高校生による平和ポスターの優秀作品も現地の協力を得て出品されており、その作品からは反戦・平和への重みや力強さを感じました。
- 生徒作品からは、平和への素直なメッセージを感じ取ることができ、著名人の方々からは、この作品展に対する高い評価を得ました。
- また、原田泰二さんや藤城清治さんの作品や、やなせたかしさんの東日本大震災復興へのメッセージをアンパンマンが伝えているポスターもあり、イベントの厚みを感じました。

〈主な展示内容〉

- ・ 授業で作成したオリジナルTシャツ・絵手紙、美術部生徒作品
- ・ 沖縄平和祈念資料館より(沖縄県の中高生徒優秀作品)
- ・ 外国交流作品(インドのスネハパブリックスクール、ベトナムレロイ 中学校、他)交換作品
- ・ MOA美術館より(外国生徒作品)
- ・ 著名な方々の原画や作品・メッセージ等

著名人の方から贈られた作品



■ 展示作品の一部



■展示作品の一部



■新聞の紹介記事



が、「命と宝」と描き、同校に寄贈した絵本「ひめゆり」も展示されている。シンガー・ソングライターの高沢和史さんとBOROさん、日本画家の横谷幸二さんら多くの著名人による平和を求めるメッセージや、文化財保存に尽力してきた地元の石工、佐野誠司さんが寄せた作品も並び、多くの人が見入っている。企画した同校美術科の杉本哲也教諭は、「いろいろな表現から、平和への熱い願いを感じてもらえたら」と話している。

三笠中学校美術作品展 ピースメッセージ展（平和の風）2020の開催（オンライン開催）

今年は新型コロナの感染拡大のため、奈良町資料館のHPでオンライン展示会として開催。

資料館での現場展示会は開催しませんでした。

今回は、「LOVE & PEACE～輝く個性で笑顔を広めよう～」のテーマで作成した作品を展示しました。

■開催のポイント

- 今年で6年目を迎える「ピースメッセージ展」は新型コロナ感染拡大のため初めてオンラインで開催しました。
- 今回は三笠中学校美術部作品による『LOVE & PEACE ～輝く個性で笑顔を広めよう～』をテーマのもとに笑顔になれるような作品を展示しました。
- 今回はこれまでの「ピースメッセージ展」を紹介した動画を作成して、過去の作品や寄せられたメッセージが観られるにしました。
- なお、昨年は国内、近隣はもとより海外からの観光客もたくさん見学に訪れてもらい、平和を希求する方々に熱いメッセージを発信しました。また、沖縄の中学生・高校生による平和ポスターの優秀作品も現地の協力を得て出品されており、その作品からは反戦・平和への重みや力強さを感じました。

今年のメッセージテーマ



「オンライン展示会の紹介動画」
You Tube(5分53秒)



URL 「<https://youtu.be/ZRLrteMvuNQ>」

■ 展示作品の一部



■ 展示作品の一部



■ 展示作品の一部



ピースメッセージ展~平和の風2020
奈良県大芸術祭2020「届け、姫花ちゃんの夢」

~悲しみを超えて、エールをこめて~
鈴木姫花ちゃんはいわき市に住む小学校4年生。絵を書くのが得意で、小さなころからたくさんのコンクールに入賞し、元気で朗らかで、絵と音楽が大好きな女の子でした。「10年後の自分へ」と題した作文には、デザイナーになりたいという夢が綴られてました。しかし、そんな将来への夢も、輝いてた命も、東日本大震災によって奪われてしまったのです。

届け、姫花ちゃんの夢。

~悲しみを越え、エールをこめて~

デザイナーを夢見た女の子。

鈴木姫花ちゃんはいわき市に住む小学校4年生。絵を描くのが得意で、小さな頃からたくさんのコンクールに入賞し、元気でほかほかで、絵と音楽が大好きな女の子でした。「10年後の自分へ」と題した作文には、デザイナーになりたいという夢が綴られていました。しかしそんな将来への夢も、輝いていた命も、東日本大震災によって奪われてしまったのです。

残された夢をかたちに。

悲しみに暮れる日々の中で、お父さんは彼女が生きてきた証を何か残してあげたいと思っていました。そんなご家族の思いと姫花ちゃんの夢を紹介した朝日新聞の記事に感銘を受け「デザイナーになりたい」という姫花ちゃんの夢を叶えてあげたい、と動いたのが京都のデザイナーさんです。姫花ちゃんの絵はハンカチとなって、日本グラフィックデザイナー協会の復興支援プロジェクト「やさしいハンカチ展」に出展され反響を呼びました。

復興への祈りをこめて。

「夢がかなったよ」と微笑む姫花ちゃんにいつでも出逢えるような、そんなハンカチです。大きな反響をいただいた結果、より多くの人々のお手元にお届けできるようになりました。収益は全額、震災義援金としていわき市に寄付されます。震災でさまざまな傷を負った人々が、悲しみを乗り越えて少しずつでも前に進んでいくための、一助になれば幸いです。

塩屋埼灯台、幸せ色の風景。

新聞記事に載っていた印象的な絵は、2009年の「灯台絵画コンテスト」に入選した絵。明るいい色使いで描かれた塩屋埼灯台は、見ている人を癒し、笑顔にさせる、まさに幸せの黄色いハンカチです。不思議なことに、現実には塩屋埼灯台を同じアングルから見られる場所は存在しません。「もしかしたら天国から見た景色なのかもしれない」…お父さんは、ふと思ったそうです。

福島県いわき市
震災で亡くなった人 310名
行方不明者 37名 (2012年4月4日現在)

東日本大震災により亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様とその家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。

IV. 參考資料

1.国際平和年とは

アメリカとソ連の冷戦状態が続く中、1982年11月の国連総会は1986年を「国際平和年」と定め、1985年10月24日の国際連合創設40周年記念日に「1986年を国際平和年とする」と正式に宣言した。

〈目的〉

- 1.国連憲章に基づいて平和、国際の安全と協力を推進し、平和的手段によって紛争を解決するために、国際連合、加盟国、政府間機関非政府機関(NGO)、教育・科学・学術機関ならびにマスメディアにより、協調的で効果的な活動を推進する。
- 2.平和の推進と維持を目的とする主要な国際機関としての国際連合を強化する。
- 3.現状世界において平和を築くのに欠くことのできない条件に社会の関心向ける。



2.SDGsとは

2015年9月、国連持続可能な開発サミットで先進国を含む国際社会全体の開発目標となる持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)が2030アジェンダとして採択された。この持続可能な開発目標の略称がSDGsで、2030年を期限として17の目標が設定されている。

<p>1 貧困をなくそう</p>	<p>1. 貧困をなくそう あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ</p>	<p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>4. 質の高い教育をみんなに すべての人に包摂的(※)かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する</p>
<p>2 飢餓をゼロに</p>	<p>2. 飢餓をゼロに 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する</p>	<p>5 ジェンダー平等を實現しよう</p>	<p>5. ジェンダー平等を實現しよう ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る</p>
<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>3. すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する</p>	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<p>6. 安全な水とトイレを世界中に すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する</p>
<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する</p>	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>10. 人や国の不平等をなくそう 国内および国家間の格差を是正する</p>
<p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>8. 働きがいも経済成長も すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を推進する</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>11. 住み続けられるまちづくりを 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靭かつ持続可能にする</p>
<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>9. 産業と技術革新の基盤をつくろう 強靭なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る</p>	<p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>12. つくる責任 つかう責任 持続可能な消費と生産のパターンを確保する</p>

<p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>13. 気候変動に具体的な対策を 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る</p>
<p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>14. 海の豊かさを守ろう 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する</p>
<p>15 陸の豊かさを守ろう</p>	<p>15. 陸の豊かさを守ろう 陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る</p>

<p>16 平和と公正をすべての人に</p>	<p>16. 平和と公正をすべての人に 持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する</p>
<p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>	<p>17. パートナーシップで目標を達成しよう 持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する</p>

■16番目の目標の「平和と公正をすべての人に」だけではなく、ジェンダー、不平等、住み続けられるまち、海・陸の豊かさなども関連が深いですので、テーマとして活用できるのではないかと思います。